

## COADS

(総合海洋気象データセット)

COADS (Comprehensive Ocean-Atmosphere Data Set) は、アメリカ海洋大気庁 (NOAA) において作成されたものであり、1985年4月に開催された日米気象海洋業務会議の合意に基づいて、米国側から気象庁に提供されたものである。

このデータセットは、アメリカ気候データセンター (NCDC) Marine Atlas 作成のために収集したデータを基礎とし、米軍等の他機関の協力をえて1854年以降の全世界の海洋気象のデータを収集したものである。データの中には WMO との協力により収集された海面水温を中心とする歴史的データ・第二次世界大戦後連合軍が協力して収集した船舶による観測データ・定点やブイのデータなどが含まれている。(1989.4 現在 1854-1986年間の約8,500万個データ)

このデータセット磁気テープファイルは品質管理を行った生データを観測年月日・観測位置によりソートしたものと、観測位置・月毎に集計した各種統計値を収録したものである。

生データ自体は100年以上にわたっており、観測方法・記録方法などに統一性がないので、書式の整理・品

質管理等に多くの努力が払われている。品質管理の結果として、必要な場合には要素に品質管理フラグを付すなどの処理がなされ、統計データにおいては品質に問題があるものを除いたデータにより作成されている。

## 1) 生データ (CMR : Compressed Marine Data)

【磁気テープ】1854-1969年が13本、1970-1986年が9本

【要素】位置・時間、気温、海面水温、風向・風速、気圧・雲 (全雲量、下層雲量、上・中・下層雲の状態)、船の種類、現在天気 等

## 2) 統計データ (MSTG : Monthly Summary Trimmed Groups)

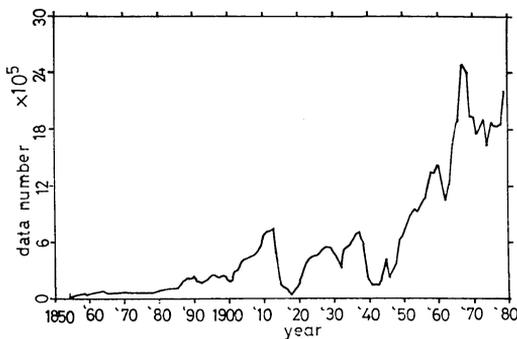
【磁気テープ】要素グループ別に11本

## 3) このほか上記 1)・2) を読み出すのに必要な情報とユーティリティソフトが収録されている磁気テープが2本

(本データセットは、気象庁海洋気象部海上気象課国際統計班で保管しているので、問い合わせられたい。

Tel 03-212-8341 内線 411)

(気象庁海上気象課・江口一平)



第1図 データ数の年変動

第2図 データの空間分布の推移 (Woodruff 等による) 3段階の濃淡は、各々2度メッシュ内の10・100・400個以上のデータ数を示す  
上段：1870-1879 中段：1930-1939  
下段：1970-1979

